

■阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】:海洋生物共生に資する海上部橋脚基礎への付加構造物に関する技術
【背景・課題】:大阪湾岸道路西伸部事業では、海上構造物の建設により、橋脚の設置や車両走行による振動、雨水の海への流出、橋脚による影の発生、夜間照明の照射などを通じて、海洋環境に影響を与える可能性がある。一方で、大阪湾では埋立の進行により浅海域や自然海岸が大幅に減少し、海の生物の生息に重要な干潟や藻場が減少している状況にある。こうした状況を踏まえ、近年ではインフラ整備においても環境との調和が強く求められており、海洋生態系の保全・再生に資する環境配慮型インフラの実現が重要なテーマとなっている。その一環として、海洋生物共生に資する海上部橋脚基礎への付加構造物に関する新たな技術を求めているところ。
【ゴール・目標】:橋脚基礎に付加構造物を設けることで、魚類や貝類、藻類などが共生（生息・繁殖）できる環境を人工的に創出し、生物多様性の向上を図る。 橋梁などの海上インフラが単なる交通機能だけでなく、環境保全にも寄与する「共生型インフラ」としての新たな価値を持たせる。 本研究の成果を活用し、地元漁業者や環境団体との協働を通じて、地域に根ざした持続可能な海洋環境づくりを推進する。
【実現イメージ】: 都市高速道路を建設・管理する総合的な技術 将来にわたる使用のための管理・更新手法の実現 環境負荷の少ない都市づくり
【取り組み】: 都市高速道路の建設・管理の経験を活かした新規路線建設及び大規模更新事業に係る技術の開発・活用
【対象設備－対象構造物】: 橋梁 - その他 環境 - 環境対策
【業務分野】: 建設・更新 環境

(2025年7月時点)